

公益社団法人 静岡県造園緑化協会

緑の宝



2024
新年号
No.79



【写真】令和5年度静岡県さくら写真コンクール最優秀賞作品「朝陽」
撮影場所：西伊豆町 仁科峠、撮影月：4月

目次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
緑の相談所開設、特別支援学校緑の保全事業	4
技術研修会ツリーライミング、今後の研修会開催予定	5
緑化巡回アドバイザー	6
みどりのおたより(県環境ふれあい課)	7
日比谷公園ガーデニングショー	8
造園施工管理技士会だより	10
さくら管理講習会、脱炭素セミナー、生物多様性研修会	11
海岸防災林の造成 植栽木の生育状況	12
森づくり大賞・サポーター表彰、静岡市まちかどコレクション表彰	13
県優秀施工者表彰、県との意見交換会、建設業労働災害防止大会	14
若手技術者紹介	15
会員名簿	16



公益社団法人
静岡県造園緑化協会
会長 櫻井 淳

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、日ごろから当協会の運営に特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

長らく続いたコロナ禍によって、日常生活や社会経済活動が大きな影響を受けました。改めて自然界での人間の弱さや命の大切さを痛感しました。昨年を振り返りますと、六月には活発化した梅雨前線と台風二号による大雨によって県内では土砂崩れや浸水など甚大な被害が発生しました。梅雨明けからの猛暑は長く続き、植物の生育はもとより我々のように屋外で働く者にとっても、厳しい夏となりました。

こうした中、我々が携わる身近な公園や緑地は、心や体を潤してくれる「癒しの空間」として、またSDGsの観点からもグリーンインフラとして、その価値が重要視されています。

造園緑化業は、こうした生活基盤を創造する担い手として、地域の緑化活動を通じ、人と自然が共生する緑豊かな住みよい県土づくりに貢献していかなければなりません。

その役割を果たすためには、先人達から引き継いだ造園技術・技能の継承とともに、新たなニーズにも応えられるよう、それらを発展させていくが必要です。また、担い手不足も深刻な課題であり、働き方改革を含め経営体制の強化を推進していかなければなりません。

協会と致しましては、会員の交流を通じて情報を共有し、これらの課題に対し一丸となって取り組むことが業界の発展につながるものと考えております。

本年も、会員の皆様のお力添えのもと、県内の環境緑化や技術支援に取り組んでまいりますので、関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



静岡県知事

川勝 平太

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昭和四十一年の発足以来五十年以上にわたり、県内各地での緑化相談所の開設や緑化技術支援などを通じて、緑豊かな住みよい県土づくりに多大な御貢献をいただいていることに對し、改めて感謝申し上げます。

数年にわたったコロナ禍を経て、人々の働き方や住まい方が変化し、地方への移住や癒やしをもたらす自然への関心が一層高まりを見せています。また、「SDGs（持続可能な開発目標）」や「2050年カーボンニュートラル」の達成に向け、世界と足並みを合わせた、自然環境の保全や森林整備、都市緑化などの積極的な推進が、より求められています。

このような中、県では「花と緑が織り成す美しい庭園県・しずおか」を基本理念とした「静岡県緑化推進計画」に基づき、日々の生活に花や緑を取り込んだ魅力ある暮らし空間を創造

するため、県民の皆様と一体となって、公共的空間の緑化の推進や緑にふれあう機会の拡大を図ってまいります。

また、「浜名湖花博」から二十周年の節目を迎える本年三月～六月に、「人・自然・テクノロジーの架け橋」レイクハマナ デジタル田園都市」をテーマとして「浜名湖花博2024」を開催いたします。花緑のある心豊かな暮らしやデジタル田園都市の実現を目指し、貴協会をはじめとする実行委員、関係機関、県民の皆様とともに取り組み、多くのお客様をお迎えいたします。

本県の美しく豊かな自然を守り、次代に引き継ぐためには、景観や環境に配慮した緑化施設の効率的な維持管理など、高度な専門技術を有する貴協会並びに会員の皆様のお力添えが不可欠であります。皆様におかれましては、更なる御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

緑の相談所開設

環境緑化の普及啓発を目的に、例年春と秋に県内各地の園芸市などの会場で、「緑の相談所」を開設し、協会員が来場者からの相談にお答えしています。

会場では花の種の配布、種だんご作り、盆景体験など各支部で工夫を凝らして普及活動を行っています。



緑の相談／浜松花と緑の祭2023(10/14)



花苗配布／浜松市緑化推進センター(10/22)



緑の相談／静岡市秋の園芸市(10/21, 22)



盆景体験／富士宮くらしフェスタ(10/21, 22)



緑の相談／富士市緑と花の百科展(10/8)

特別支援学校 緑の保全事業

平成二十七年年度から県立特別支援学校の緑化活動や校庭の樹木剪定などのお手伝いを各支部会員が行っています。本年度も、三校の特別支援学校(磐田見付分校、清水、伊東分校)を対象に、卒業式のフラワールードに飾る花苗植栽や、枝が高く伸びてしまい危険な高所作業となる樹木の整姿剪定をお手伝いする予定です。



令和4年度実績 剪定／沼津視覚特別支援学校

技術研修会 ツリークライミング



ツリークライミングの訓練

高所作業車などが利用できない樹上における伐採作業等の安全向上を目的に、令和二年度からアーボリスト®トレーニング研究所主催の二つの基礎講座(BAT-1、BAT-2)を受講することでツリークライミング技術の習得を推進してきました。

これまでに会員七十五名がBAT-2まで受講しました。



ツリー専用スパイクを装着しての作業訓練

さらなるレベルアップを図りたい会員を対象に、令和五年八月二十八日から三日間、富士市岩本山公園にて、ヘビリーギンギに必要なる基礎技術を修得する研修会(BAT-3)を開催しました。

会員五社十一名が受講しました。

初日は、ツリークライミング技術の復習及び複数のロープを使った複雑なリギング(吊り切り)の実践訓練を行いました。



吊り切りによる断幹作業の訓練

二日目からは、ツリー専用スパイクを装着し、断幹作業のためのクライミング、グランドワーカーと連携したリギング設定、チェンソーを使った樹上カットイング、吊り下ろしなど、実践的な訓練を行いました。樹上に陣取った講師から、安全なポジショニングやロープを傷つけないような作業手順の徹底について指導を受けながら、少しずつ断幹しながらヒノキを伐採しました。

今後の研修会開催予定

◆樹木の病害虫と農薬の取扱

日時 令和六年一月十七日(水)

午前十時〜午後三時

会場 静岡市産業交流センター

葵区御幸町3-21

内容 ①農薬の適正な取り扱い

②病害虫の確認方法と対策

講師 公設法人緑の安全推進協会講師
県森林・林業研究センター研究員

◆修景植物

日時 令和六年二月七日(水)

午前十時三十分〜午後三時

会場 静岡市産業交流センター

葵区御幸町3-21

内容 ①近年の作庭で植栽される

草花や植木の傾向と選定

②管理面での留意事項や修

景のポイント

講師 ひかるガーデンズ 徳原真氏

※詳しい内容や申し込みは、協会ホームページにて御確認ください。

緑化巡回アドバイザー

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、当協会技術委員らが、緑化施設等を育成管理指導しました。九月六日から二十一日までの期間に、芝生園地二十三ヶ所、景観整備地三ヶ所を実施しました。

芝生園地では、日頃管理されている方から、管理状況などをお聞きしたところ、夏は暑い日が続く、



経営企業のバックアップ体制によって管理が行き届いた芝生園地



ロボット芝刈機の導入効果で生育良好

灌水や芝刈りでご苦労があったようですが、生育状況は概ね良好でした。適期に芝刈りができなかった園地では、雑草の広がりが見られたので、種が落ちないうちに除草対策するよう助言しました。景観整備地では、植栽樹木が枯れてしまった植樹樹には小学生と協働して花苗を植栽し景観が改善されていました。

いずれにしても、緑化しようとした発起人の思いをつなげていくことが大切であると感じました。



春先の害虫の影響か、九月上旬で葉が枯れはじめています桜並木。



芝刈機のブレードを点検する技術委員



植栽木が枯れてしまった植樹樹に、小学生とコラボして花苗を植栽し景観を改善



人手不足でこまめな芝刈りができず芝草丈も高く、雑草も一面に広がった園地

みどりのおたより

静岡県環境ふれあい課

静岡県花の会連合会事務局

静岡県環境ふれあい課は、県内各地で花壇整備などのボランティア活動を行っている「花の会」からなる団体です。

当連合会では、花の会同士の交流を目的に、講演会や意見交換等を行う情報交換会を開催しており、令和五年度は、十月下旬に県内四箇所で行いました。

前半は、マスタグリーン株式会社（藤枝市）の増田和彦様を講師にお迎えし、「花の命と人との関わり」花づくりからまちづくり人づくり」をテーマに御講演いただきました。

増田様は「解化業」という命の誕生に関わる家業の元に生まれ、幼い頃から「命とは何か」「生きる目的とは何か」について考えてこ

れました。御講演では「様々な品種改良が行われてきたが、花本来の

形は、生きようとするものである」「花も命であり、何を欲しているのかしつかり観察することが大切である」等のお話があり、花と関わる

上で大切なことを学びました。

また、花のあるまちづくりについて、実際の取組事例や課題などを踏まえ、「地域で花壇を維持管理していくためには、ねぎらいの気持ちを大切にしながら協力し合うことが大切」と語られました。花の会の方々も共感する面が多くあった講演会でした。



講師の増田和彦先生

後半は、グループワークを行い、お互いに花壇の写真を見せ合ったりしながら、活動のやりがい、楽しみ、悩みなどについて、活発な意見交換を行いました。その中で、花壇を褒めてもらうことや花が育っていくのを見ること、仲間と話をすることなどが、やりがいや楽しみとして挙がりました。

花の会の活動においては、会員の高齢化や減少等、様々な課題もありますが、今後やってみたいと思ったことを出し合った終盤には「新しい寄せ植えのプランツギヤ



講演の様子

ザリングをやってみたい」「子育て世代に花の会をアピールしたい」など、多くの前向きな意見を交わすことができました。花の会の活動は、花が好きの人や、コミュニケーションの場を広げたい人にはぴったりです。

各花の会では、会員を募集していますので、園芸やボランティア活動に興味のある方、地域を花で盛り上げたい方など、是非、環境ふれあい課（電話番号…〇五四・二二一・二八四九）まで、お問い合わせください。



意見交換の様子

日比谷公園ガーディングショー2023

○概要

「第二十一回日比谷公園ガーディングショー2023」は、さまざまな環境や社会が変化するなか、これからの持続可能で平和な社会を目指し、「花とみどりの力」がもつ可能性を日比谷から世界に発信することを開催趣旨とし、令和五年十月二十一日(土)から十月二十九日(日)まで開催されました。

開催テーマは「しあわせ広がる日比谷の秋」

第一花壇を中心に、市民参加のガーデンコンテスト作品展示、花と緑・環境緑化等に係る企業や団体のテント出展、コンサート、キッチンカーによるグルメ飲食等のほか、花苗配布をはじめとする様々な「花と緑」の演出がイベントを彩っていました。

ガーデンコンテスト

プロ・アマを問わず出品される国内でも最高レベルのコンテストが三部門で開催されました。

園内では、コンテスト作品ガイドツアーも実施され、受賞作品の見どころなどをわかりやすく解説していました。

○ライフスタイルガーデン部門
幅3m×奥行2m内に、テーマ「暮らしを楽しむガーディング」に沿った18作品が出品。



会場は開園120周年を迎えた都立日比谷公園



第一花壇の芝生園地が中心会場



環境大臣賞「転送装置」



東京都緑化基金賞「秋庭」



東京都知事賞「美都里(緑)の力」



秋なのに日差しが強く撮影スポットに人影なし



農林水産大臣賞「秋色に染まる」

○コンテナガーデン部門
コンテナ(容器)に根付きの植物を植え込み、1㎡四方の中で作品を完成させる部門には54作品が出品。



ガイドツアーはガーデニング愛好家で盛況



農林水産大臣賞「秋色 紡いで」

○ハンギングバスケット部門
壁掛け型の容器に、根付きの植物を使用し、縦80cm×横70cm以内のサイズで重量20kg以下で完成させる部門には93作品が出品。



公園のシンボル 大噴水

◇バリアフリー日比谷公園
プロジェクト
日本で最初の洋風公園として開園し今年で百二十周年を迎えた日比谷公園では、年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすく楽しめる新たな時代の公園に進化させるためのプロジェクトが動き出しました。第一弾として、園内最大のオープンスペースの第二花壇で、誰もが自由に芝生地に入ることができるよう改良工事がはじまっています。



「首掛けイチヨウ」

◇日比谷公園の「首掛けイチヨウ」
もともとは、日比谷公園交差点脇にありましたが、公園建設のための道路拡張工事によって伐採寸前にあったところを、公園の設計者の本多静六博士が「自分の首にかけても移植させてみせる」と言ったのが名前の由来だそうです。公園のレストラン脇に立つ姿は、まさに都会のオアシスの主といった風格あるイチヨウです。推定樹齢四百年〜五百年、幹周りは七m。

静岡県造園施工管理技士会だより

第三十八回通常総会

令和五年八月二十四日(木) 静岡市産業交流センターにて、「第三十八回静岡県造園施工管理技士会通常総会」が開催されました。令和四年度収支決算や役員改選などの提出議案が満場一致で可決されました。また、同日開催された理事会において、新会長に衛藤徹雄氏が選定されました。



新会長の衛藤徹雄氏

議事終了後、一般社団法人地域

緑花技術普及協会代表理事、細野哲史氏による講演が行われました。

講演「樹木の保護とリスクマネジメント」

講演では、樹木が原因となった事故や裁判事例、樹木診断とリスクへの対応、樹木の価値を再考した樹木の保護とリスクマネジメントのありかたについて、講師の豊富な知識と経験から解説していただきました。



講師の細野哲史氏

研修(樹木点検実習)

令和五年十月二十四日、県立中央図書館にて、上記の細野哲史氏を招いて樹木点検をテーマに研修会を開催し、会員二十二名が参加しました。講師が目視による点検のほか、鋼棒を貫入した際の摩擦音、木槌による打音異常から、幹内部の空洞や腐朽の状況の判定についてデモンストレーションしました。その後、班毎に樹木を点検して評価結果を発表しました。



班別に点検結果を発表

視察研修会(指定管理)

令和五年九月二十六日、浜名湖ガーデンパークにて、都市公園における指定管理者制度をテーマに視察研修会を開催し、会員二十二名が参加しました。管理センターの谷口所長、吉田副所長から管理運営状況の説明を受けた後、「浜名湖花博2024」に向けて整備しているユニバーサルガーデンの施工現場を視察し、設計者の阿部容子氏から説明を受けました。



ユニバーサルガーデン施工現場を視察

さくら管理講習会

令和五年十一月十五日(水)県愛鷹広域公園において、静岡県さくらの会主催による管理講習会が開催され、会員も出席しました。講師を務めた(株)木守樹木医事務所の代表大嶋郁人氏が、陽当たりの改善と併せて美しい自然樹形となるように整姿剪定する場合のポイントをデモンストレーションしながら解説しました。



切除する枝を選択する場合の留意点を説明



講師による剪定のデモンストレーション



広葉樹の枝の切除位置を説明

緑の恵みを活用した 脱炭素セミナー

令和五年十一月七日(火)静岡県と静岡県グリーンバンク主催によるセミナーに出席しました。関東経済産業局の斉藤諒氏は、2050年カーボンニュートラルに向けた政府の取組を説明しました。

(株)モリアゲ代表の長野麻子氏は、日本の森と木の可能性を見直し山村経済を活性化させることで、脱炭素につなげることができると強調していました。



企業関係者が出席

生物多様性地域戦略推進 パートナーシップ制度研修会

令和五年十一月二十八日(火)静岡県主催による研修会に会員も参加しました。県自然保護課からは、企業と環境保全団体が連携した環境保全活動を推進するための「ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナーシップ制度」の説明がありました。

神奈川県県の太平洋電気㈱の樋口氏からは野鳥保護の活動経費を支援する「地域の自然を守るタオル」事業について紹介がありました。また、長崎県対馬市の「佐護やマネコ稲作研究会」「対馬もろびと協同組合」の吉野氏からは、ツシマヤマネコの生息環境の保全活動に必要な経費を確保するため、地元稲作農家と連携したお米の販売や、環境省の地域循環共生圏プラットフォーム構築事業を活用した森づくり活動について紹介がありました。

海岸防災林の造成 植栽木の生育状況

静岡県西部や中遠地域において、山土で植生基盤盛土を造成し、クロマツ等の植栽を行う、海岸防災林の再整備が行われています。当協会の会員も植栽に関わっていることから、工事が先行した浜松市内の生育状況について、追跡調査や管理している静岡県の関係機関に伺いました。



浜松市西島海浜の森公園付近

◆県森林・林業研究センター

令和四年度研究成果より

①クロマツの植栽密度

海岸の砂地にクロマツを植栽する場合、従来は一万本/㍒が標準とされてきたが、近年の山土による盛土では五千本/㍒で植えられるようになってきた。さらに密度を下げてても生育に問題がないか検証した。

（結果）陸側法面における四年後の生存率は千五百本/㍒、三千本/㍒、五千本/㍒いずれも九割程度であり、植栽密度を下げてても植栽四年後までにおける生育は特に支障がなかった。



海側から防災林を望む／浜松市西島

②植え穴サイズの違いによるクロマツの根系伸長への影響

盛土は、重機で整地され土壌が締め固められている。そのまま盛土へ植栽すると根系発達に阻害される恐れがある。そこで、異なる植穴サイズに土をほぐして植栽した場合の根系発達の状況を検証した。

（結果）地下方向は深さ10cmの植穴では根系伸長が見られず、深さ30cm及び60cmの植穴では根系伸長がみられた。一方、水平方向は植穴サイズに関わらず根系が伸長していた。30cm以上掘って土をほぐしてからクロマツを植栽すること、は、垂直方向への根の成長促進に有効と考えられる。

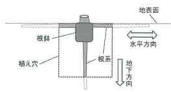


図1 根系調査範囲の模式図



法面上部に植栽した広葉樹



一部でクズが繁茂

③クロマツと広葉樹の生育状況

盛土上に植栽したクロマツと広葉樹（トベラ、マサキ、シャリンバイ）の活着や成長について検証した。

（結果）植栽八年後のクロマツの生存率は、海側、陸側ともに八割以上であったが、シャリンバイ、トベラ及びマサキの海側における生存率は、〇〜三割と低く、特にマサキの生存率が低かった。

◆県西部農林事務所（管理状況）

これまで下刈りは不要であったが、一部でクズが繁茂していることから、令和三年度からツル切りを実施。クロマツの生育は良好で本数調整伐を検討している。

森づくり大賞・未来の森 サポーター企業表彰

静岡県と静岡県グリーンバンク
による「静岡森づくり大賞」「しず
おか未来の森サポーター企業」の
表彰式が行われ、高知県くらし・環
境部長から褒状・表彰状が授与さ
れました。



森づくり大賞（知事褒賞）
中央：マイクロメジャー（株）
右：ホリデーフォレスト活動隊



サポーター企業 [左2列目から順に]
＜功労者表彰＞東海ガス（株）、（株）静岡銀行
静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会
＜知事褒賞＞関エー・エル・シー

静岡市まちかど コレクション表彰式

令和五年十一月二日（木）、静岡
市役所本館で「静岡市まちかどコ
レクション表彰式」が開催されま
した。当協会も後援協力すると
ともに、選考委員の一員として参加
させていただきました。今回で第
五回目となるコレクションには、
六十一件の応募があり、現地審査
及び協議による最終選考の結果、
五件が受賞されました。

大賞 苔聖園
准大賞 ARTIE
優秀賞 地域の宝 望月竹次郎商店
優秀賞 オアシス賞 洋風庭屋オリーブ
優秀賞（景色の原賞）
Out Door Life Kano
／Kano cafe

受賞物件のうち、造園関連の二
件を紹介します。



受賞者と選考委員

◆苔聖園／静岡市駿河区

盆栽業若手経営者の発案で塀を
取り払い透明ガラスの外壁に於て
盆栽を展示。夜はライトアップさ
れ盆栽芸術の神秘的な生命力が感
じられます。



苔聖園（たいしゅうえん）

◆洋風庭屋オリーブ／静岡市駿河区

西洋風ガーデンの設計施工管理
を手掛ける店舗に併設されたオー
ブンガーデン。季節の花を楽しむ
に立ち寄ってみたくなる明るく開
放的なお庭です。



洋風庭屋オリーブ



本館あおい塔で記念撮影

建設産業構造改善推進のつどい

静岡県優秀施工者 知事表彰

令和五年九月五日(火)、静岡市

産業交流センターにて「令和五年度建設産業構造改善推進のつどい」が開催され、第一部の褒状授与式で、駿河緑地造成㈱の鈴木良明(すずき よしあき)氏が表彰されました。

鈴木氏は、様々な土木・造園工事の責任者として常に優秀な評価を得ているほか、技術者教育にも熱心に取り組むなど造園業界の発展に尽力しており、他の模範であったことが評価されました。



駿河緑地造成㈱ 鈴木良明氏



受賞者による記念撮影

講演「建設現場における 安全作業を行う上での 気象予報の重要性について」

第二部の講演では、静岡地方気象台の長谷川りつ氏が、静岡県の気象特性について、過去の気象データから解説しました。建設現場の責任者は、防災気象情報の定義を理解したうえで、最新の情報を確認することが大切であると強調していました。

県交通基盤部と 建産連との意見交換会

令和五年十月十七日(火)静岡市

産業交流センターにて、静岡県建設産業団体連合会(石井源一会長)主催による、県交通基盤部との意見交換会が開催され、当協会も出席しました。冒頭、石井会長は、「災害対応など、建設業界が果たす役割への期待は大きい。業界の抱える課題を改善していきたい」と挨拶。勝又交通基盤部長も「平素からの協会会員の協力に感謝。意見交換が有意義な場となるよう期待している」と述べました。議事では、働き方改革、適正な利潤の確保、資機材の高騰、担い手確保、建設発生土対策などをテーマに、建設業を支える各専門業界からの提案や質問などに対し、県担当課長から回答がありました。

建設業労働災害 防止大会

令和五年十月二十七日(金)静岡

労政会館にて、静岡県労働災害防止協会静岡県支部主催による「第五十回静岡県建設業労働災害防止大会」が開催され、当協会啓発労働委員会も出席しました。大会では安全表彰などの後、全参加者は、建設機械・クレーン等災害・倒壊・崩壊災害の三大災害防止対策の徹底などに取り組むとした安全の誓いを唱和しました。



大会会場の様子

啓発労働委員会より 若手技術者紹介



橋本静香さん(26歳)

熱海市 藤原造園園

（就職の動機）父が造園業で、小学生の頃から跡片付けなどを手伝っていました。植物の手入れをする造園に惹かれ、園芸を学べる高校・短大に進み、造園業界に就職しました。転職を経て現会社三年目です。

（仕事は）最初は、学校で勉強したことと、現場での作業方法の違いに戸惑いました。今回はゼネコンの現場ですが、様々な作業や重機が平行して動いているので、自分のことだけでなく、周囲に気を配りながら作業しています。自分に任された作業は、責任を持って最後までやりきるよう心掛けています。

剪定作業や草取りを飽きることなく集中して作業することができるとは造園が大好きだからです。作業後にお客様から、ねぎらいの言葉を掛けてもらった時は励みになります。

（休日）小説を読むことが好きです。お気に入りには村上春樹の作品です。

（今後の抱負）造園の仕事を通り覚えて一人前になったら、独立したいと思っています。



アラカシの株立ちを植付け



渡邊和郎さん(31歳)

富士宮市 赤池造園園

（就職の動機）美術学校を卒業しましたが、自分が思い描く就職先が見つかりませんでした。自然の風景を見ることが好きだったので、造園も相通じるものがあるのではないかと思います。

（仕事は）最初は現場の片付けが中心でした。二年経過した頃から、刈り込み作業に従事するようになりました。作業を終え綺麗になった生垣を見て、絵を描き終えた時のような充実感を感じ今後も続けられるような気持ちになりました。現在四年目ですが、剪定の指導も受けて作業するようになり、自分でも成長したと思います。機械いじりも好きで、刈り払い機などをメンテナンスして、スターターを引いて一発目でエンジンが掛かった時はうれしくなります。

（休日）水彩による風景画を描いたり、美術館巡りをしています。好きな樹木はヒメシヤラです。特徴のある美しい樹皮や初夏に控え目に咲く花の雰囲気が好きです。

（今後の抱負）個人庭園の手入れを一人でも出来るようになりたいので、まずは、造園技能士資格を目指して勉強中です。



田貫湖でサクラの枯枝を切除

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員

会 員 名	所在地	電話番号	会 員 名	所在地	電話番号
咲愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	原田造園様	焼津市	054-624-2610
木村造園様	東伊豆町	0557-23-1635	良知樹園様	焼津市	054-624-1355
咲伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	南富士島造園	焼津市	054-624-4007
咲広野園	伊東市	0557-37-3028	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
咲植源	伊東市	0557-45-0040	南栲樹園	焼津市	054-624-8941
藤原造園様	熱海市	0557-81-4240	咲中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
西村造園様	熱海市	0557-82-7424	咲特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
咲富士見園	長泉町	055-986-6567	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
咲植正園	沼津市	055-921-0945	咲樹樹園	御前崎市	0537-86-2684
咲翠石園	富士市	0545-71-2236	田旗造園建設様	掛川市	0537-22-5951
咲大松園	富士市	0545-52-5220	咲桔梗庭苑	掛川市	0537-24-5577
南常華園	富士市	0545-35-0163	咲三宝園	掛川市	0537-24-4128
咲望月庭園	富士市	0545-21-5195	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
南やまと園芸	富士市	0545-38-1958	南松月園	森町	0538-48-6431
天野園芸様	富士市	0545-81-0655	南苔香園	袋井市	0538-24-7770
咲共立	富士市	0545-85-1213	咲片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	咲ハッ代造園	袋井市	0538-43-4355
赤池造園様	富士宮市	0544-24-3568	トヨタ緑産様	袋井市	0538-44-0400
咲岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	咲庭 仁	磐田市	0538-35-5528
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	咲植 勘	磐田市	0538-34-3030
源平造園建設様	静岡市清水区	054-366-5525	咲浮月園	磐田市	0538-38-0529
咲小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
駿河緑地造成様	静岡市清水区	054-351-2555	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南松島園	磐田市	0538-38-0790
木下造園様	静岡市清水区	054-334-0757	南大東園	磐田市	0538-34-4163
不二見造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	南昭花園	磐田市	0538-55-3392
咲興隆グリーン	静岡市清水区	054-369-6477	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
春長園緑化様	静岡市葵区	054-246-7512	咲江間種苗園	浜松市中央区	053-471-1727
咲ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	咲庭 明	浜松市中央区	053-453-3311
咲森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	咲庭 勘	浜松市中央区	053-455-3980
静岡観葉様	静岡市葵区	054-261-2094	みどり園様	浜松市中央区	053-456-1165
南飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	南太陽造園土木	浜松市中央区	053-455-4007
咲藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	咲大瀬造園	浜松市中央区	053-434-1907
咲静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	天龍造園建設様	浜松市中央区	053-421-1180
咲理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	赤坂産業様	浜松市中央区	053-434-4332
咲西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	大協造園緑化様	浜松市中央区	053-592-4500
ソーアイ造園様	静岡市駿河区	054-282-7971	ナイスイ緑地様	浜松市中央区	053-485-4631
咲小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	市川造園様	浜松市中央区	053-449-4646
咲落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園南	浜松市浜名区	053-587-4838
咲静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	南寿重植木	湖西市	053-579-0736
加藤造園様	焼津市	054-628-3235			

(賛助会員)

会 員 名	所在地	電話番号	会 員 名	所在地	電話番号
咲インブル	静岡市葵区	054-207-8171	咲アクティオ静岡支店	静岡市葵区	054-653-7181

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、
公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大植町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

Tel. 054-253-0586 URL <https://www.midorinotakara.org/>

令和6年1月発行
編集 啓発労働委員会
題字 乗松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。